



赤羽だより

1月号



令和3年1月8日(金) 港区立赤羽小学校

心の「レジリエンス」

校長 宮崎 直人

明けまして、おめでとうございます。令和3年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

今日から3学期が始まり、にぎやかな声が学校に戻ってきました。今回の冬休みは、例年とは違って家で過ごすことが多かったのではないかと思います。子供たちの元気に挨拶をする姿や生き生きとした表情から、新学期への期待や意欲が伝わってきました。保護者や地域の皆様方のご支援・ご協力を心より感謝申し上げます。

去年は、臨時休校や行事等の変更、感染症予防対策等、これまで経験したことのない出来事の連続でした。子供たちにとっても、厳しい日々が続きました。そうした中、「レジリエンス(resilience)」という言葉に出会いました。「レジリエンス」は、「復元力」「回復力」「弾力性」などと訳される言葉です。元は、物理学や生態学の用語として使われていたのですが、最近では、「困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生きる力」を意味する心理学的な用語として使われることが増えているそうです。

去年の11月に打ち上げられたアメリカの民間宇宙船「クルードラゴン」が、野口聡一さんなど、搭乗した宇宙飛行士4人によって「レジリエンス」と名づけられたことでも話題となりました。野口さんは、「レジリエンスは、困難な状況から回復する力、強靱性を意味します。世界中が新型コロナウイルス感染拡大で大変な状況にある。宇宙飛行士たちも大きな影響を受けましたが、それ以上に世界中の医療関係者やエッセンシャルワーカー等のご尽力には心から感謝しています。このような困難な状況の中でも互いに協力し合って、元の状況に戻していく力になりたいというのが我々の想いです」と語っています。

これからの時代、子供たちに「困難な状況の中でも互いに協力し合って生きていく力」を育むことが大切だと思います。ある心理学者は、自己肯定感を高めることに焦点を当て、この「レジリエンス」を育む方法について、以下の4点を挙げています。「プロセスを励まし、ほめること」「前向きな気持ちを盛り上げること」「手本を見せること」「成功体験を積み重ねること」です。これらは、家庭・地域・学校等において大人のサポートが必要になります。

特に、小さな成功体験を積み重ねることが、子供たちが「やればできる」という気持ちをもつ大きな原動力になります。そのためには、結果を重視した励ましではなく、到達できたところまでのプロセスを励まし、ほめることが大切です。

この3学期は、今年度のまとめの学期でもあり、6年生にとっては中学校への進学、1年生から5年生にとっては、それぞれ新しい学年に進級する準備の期間でもあります。私たち教職員は、「チーム赤羽」として、子供たちが元気に明るく、楽しく学校生活が送れるよう、心の「レジリエンス」の育成を念頭に置き、子供たちに寄り添い、精一杯支援してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様方におきましては、本年も、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「みなと保健所」にエールを届けました！

赤羽小学校は、「キッズブーケプロジェクト」(子供たちが制作したブーケを贈呈することで、尊敬や感謝などの気持ちを届ける取り組み)に参加しています。12月24日には、2年生が折り紙のブーケを制作し、代表児童が「みなと保健所」に届けに行きました。「みなと保健所」の皆様からは、「思いがけないクリスマスプレゼントをもらいました。」「心のこもったメッセージに感動し、元気をもらいました。」「とのお言葉をいただきました。本校は、これからも、私たちの健康を守ってくださっている医療関係の皆様を心より応援いたします。



大縄大会

担当 古谷 岳史

11月25日からの大縄週間、子どもたちは各クラスの目標に向かって、心をつなげて練習に取り組みました。あいにく大縄大会当日は雨天で延期となりましたが、翌週の学年ごとの記録会では、皆で一生懸命に頑張る姿がたくさん見られました。今後の学校生活でも、この経験を活かし、力を合わせて頑張してほしいと思います。

1・2年生

1・2年生で合同で大会を行いました。お互いの学年の頑張る姿を見合い、応援し合うことでどのクラスもいい記録が生まれました。交流がなかなかできない中で素晴らしい機会になりました。



3年生

3年生は大縄の学習を通して、「優しい声掛け」の仕方を学びました。失敗した友達に、「どんまい！」と声を掛ける姿はとても立派でした。大縄大会で学んだことを日々の学習にも生かしていきたいと思います。



4年生

4年生は自主性を重んじて取り組みました。自分たちで練習し、自分たちで結果を出す。本番を終え、子供たちは達成感があつたようで、満足している様子でした。何事も過程が大事です。この気持ちを今後も、もたせていきたいと思っています。



5年生

各クラスが一つになり目標に向かって取り組みました。どのクラスも自己ベストを更新できました。失敗したときに「大丈夫!」「おいしい!」などと声を掛ける姿もあり、また一つ5年生が大きく成長できました。



6年生

2学級が競い合うのではなく、どちらかのクラスが優勝するという目標を立てて頑張りました。目標は達成できませんでしたが、優勝したクラスに賞賛の言葉をかけていた姿に、大きな成長を感じました。



ひまわり学級

練習では最高記録81回でしたが、記録会当日は1回目98回、2回目108回と続けての記録更新!声を上げずに、皆、大喜びしました。「努力すればできる。」を実感できた瞬間でした。



租税教室

6年 百瀬 天音

12月3日(木)に租税教室を行いました。講師は芝法人会の皆様です。

税については、1学期の社会科の学習で学んでいますが、今回の学習では、「区や学校で使われている税金や税金がなくなるとどうなるのか」など、6年生が税金を身近なものとして考えることができました。また、1億円がどれくらい重いのかということも体験させていただき、驚いていました。学習を通して、大人になったら、しっかりと税金を納めたいという意欲を高めることができました。芝法人会の皆様、ありがとうございました。



セーフティ教室

担当 三好 結子

12月12日(土)にセーフティ教室を実施しました。セーフティ教室は、児童自身が安全について学び、考えることで、身の周りの危険から自分を守る手立てを身に付けることをねらいとしています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小し、3・6年生が代表として講堂で行い、他の学年はその様子を録画したものを教室で視聴しました。上学年は「SNSルール」、下学年は「連れ去り」について、三田警察のスクールサポーターの方々から事例を基にお話していただきました。これを機に、「自分の身は自分で守る」ことを念頭に防犯意識を高めてほしいです。

港区子どもサミット

担当 上野 妙子

12月7日(月)に港区議会で「港区子どもサミット」が行われました。港区の小中学校の代表が集まり、港区をよりよいまちにするために、自分たちがすべきことやできること、大人に期待することなどについて話し合いました。

赤羽小学校は、「共生社会の実現に向けた港区のまちづくりについて」というテーマの話し合いに参加しました。全ての人が暮らしやすいまちづくりのために、自分たちや学校ができることを、真剣に考え、具体例を挙げながら発言することができました。



書き初め展

担当 宇佐美 真美

毎年、年の初めは「書き初め」から・・・ということ、3学期は「書き初め会」から始まります。

1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆と形は違いますが、「心静かに、紙と向かい合う」というところは同じです。自分と向き合う、貴重な時間となるはず。心を落ち着けて、丁寧な伸び伸びとした字を書いてほしいと願っています。

出来上がった作品は、「校内書き初め展」として、各教室前の廊下に展示いたします。学校公開が中止になったことにより、保護者の皆様にご覧いただく方法を今後検討いたします。決まりましたら、改めてご連絡をいたします。

なわとび月間

担当 古谷 岳史

赤羽小学校、冬の体力づくり第2弾は短なわとびです。1月の終わりからおおよそ1か月間に渡って、短なわとびで体力づくりを図ります。

期間中は「なわとび検定」を行い、短なわとびの技の習得を目指していきます。大縄同様、マスクの着用などの感染症予防をしながら実施します。より多くの技の習得を目指しつつ、寒さに負けない強い体づくりに取り組んでほしいと思います。

道徳授業地区公開講座

担当 金井 彩乃

今年度の道徳授業地区公開講座は、新型コロナウイルス感染症予防のため、紙面にて今年度の道徳の授業の様子などをお伝えいたします。

今年度は、「豊かな心の育成」を研究テーマに道徳の学習に取り組んでまいりました。週に1回という限られた時間ですが、充実した時間となるよう、授業を工夫して行っています。その一端を紙面でご覧いただければ幸いです。

令和2年度3学期の主な行事予定(1月8日現在)

※ 1月8日現在の予定です。今後も、新型コロナウイルス対応等により予定を変更する場合がありますので、学校のホームページ、緊急メール配信等で必ずご確認ください。

3学期					
1月	7日	冬季休業日(終)	3月	2日	保護者会(1~3年,ひまわり)
	12日	始業式 給食(始)		4日	保護者会(4~6年)
	25日~2月6日	書き初め展		5日	ありがとうの会
	30日	学校公開(保護者のみ)→中止		6日	6年生を送る会
2月	6日	学校公開(保護者のみ)→中止		23日	給食(終)
		道徳授業地区公開講座		24日	卒業式
		→書面開催		25日	修了式
	12日	遠足(ひまわり)		26日	春季休業日(始)
	14~15日	移動教室(6年)			
	18日	Tokyo Global Gateway(6年)			
		→行先と日程を変更予定			
	26日	新1年生保護者会			

令和2年度3学期の土曜授業日 (今後、変更する可能性もあります。)

3学期(6回)…………… 1月16日、1月30日、2月6日、2月20日、3月6日、3月13日



1月の生活目標

「落ち着いた生活をしよう」

生活指導部

令和3年がスタートしました。例年とは違った年末年始になったことと思います。今年も、様々なことがあるとは思いますが、子供たちの元気な声があふれる赤羽小学校であってほしいと願っています。

さて、楽しい休みのあとは普段の日常が戻ってきます。日常の生活をしっかり過ごすことが大切です。学校での学習や生活をしっかりとできるようにするためには、日常の生活リズムを一日も早く取り戻さなくてはなりません。久しぶりに登校してきた子供たちの様子を見ると、まだ眠そうな表情を見かける人もいます。年末・年始の楽しい時間で乱れてしまった生活リズムを取り戻してほしいと思います。

また、本校では、子供たちがしっかりと学習に取り組めるようにするための約束である「学びのやくそく」や安全・安心な学校生活を送るための「わたしたちの生活」のきまりがあります。きまりはちょっぴり窮屈なこともあるかもしれませんが。

500人近い子供たちが生活する本校にとって、なくてはならないものです。学校もきまりを守ることで成り立つ点では、私たち大人の社会と何ら変わることはありません。

1月の生活目標は「落ち着いた生活をしよう」です。休みモードから通常モードへの切り替えをしっかりと行い、1年のまとめの3学期をしっかりとスタートしてほしいと願っています。

お知らせ

- 第1学年1組担任の江原 美沙主任教諭が1月から産休に入りました。そのため、12月まで3～6年生の算数少人数を担当していた市川 春佳（いちかわ はるか）教諭が1月から第1学年1組の担任をいたします。また、3～6年生の算数少人数は、山崎 鼓太郎（やまさき ことろう）教諭が担当いたします。よろしくお願いいたします。
- 2月6日に実施を予定していた「道徳授業地区公開講座」は、書面開催といたします。後日、「特別の教科 道徳」に関する赤羽小学校の取組について、お便りを配布いたしますので、ご覧ください。
- 1月30日（土）と2月6日（土）に予定していた学校公開については、国の緊急事態宣言の発出に伴い、中止いたします。その他の3学期の行事等につきましては、感染状況を踏まえて判断いたします。変更がある場合は、緊急配信メール、ホームページ、お便りでお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

学校の玄関の装飾

今月から、地域学校協働本部の活動として、ボランティアの皆様が、玄関の装飾を行ってくださっています。季節を感じることでできる素敵な装飾に子供たちは、大喜びです。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。



1月の行事予定

日	曜日	学校行事・予定等
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	始業式 給食（始）
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	放送朝会 委員会活動 身体計測（5年・ひまわり）
13	水	安全指導日 身体計測（4・6年）
14	木	身体計測（2・3年）
15	金	避難訓練 身体計測（1年）
16	土	土曜授業日
17	日	
18	月	放送朝会 クラブ活動（クラブ見学）
19	火	
20	水	児童集会
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	放送朝会 書き初め展（始） 6時間授業（4～6年）
26	火	
27	水	体育朝会 なわとび月間（始）
28	木	漢字検定 5時間授業
29	金	
30	土	土曜授業日
31	日	

初夢・・・夢に向かって

副校長 日原 茂貴

新しい年になりました。子供たちは新年を迎え張り切っていることと思います。皆さまはどのように新年を迎えられたでしょうか。どのような初夢を見られたでしょうか。江戸時代から縁起のいい初夢として「一富士二鷹三茄子」と言われています。「富士＝無事、鷹＝高い・貴、茄子＝（事を）成す」という縁起のよい語呂合わせからきているそうです。また、これには「四扇、五煙草、六座頭」という続きがあるそうです。

さて、新年を迎え、子供たちはどのような夢や目標をもったのでしょうか。「夢や目標をもつ」ことは、前に進もう、努力しようとする原動力となります。新型コロナウイルス感染症対応が続く厳しい状況ですが、子供たちが自分の夢や目標をもち、焦らず努力を続けられるよう教職員一同で支援してまいります。